

ナタし縮小阻止へ

北炭問題、石特予算が焦点

中央情勢

しだいに緊迫の度を深めている北炭を取り巻く情勢の中で、炭労は八月二十日に中央委員会を開いて、真谷地、幌内、空知各炭鉱の維持・存続と、万一、真谷地炭鉱で不測の事態が予想される場合、諸課題の解決のためのたかいたい構築していくことを決めた。

情勢と問題点

出炭・人員について

減少となっています。

原料炭問題について

これは、ナタラカ縮小を基本とする第八次政策の精神に反するばかりか、多くの問題を惹起している。

63年度石炭予算

現在、通産省原案作成中で、主に財源確保、縮小規模、補助金対策などが検討課題となっている。

当面の課題

以上のような情勢と問題点の中で最大の課題は、①ナタラカ閉山の防止、②労働条件の維持・向上、③縮小・閉山対策の強化、であり、難航している引き取り量問題、賃金・期末手当の引き上げ、北炭の未払い退職金問題、閉山・縮小による雇用・地域対策での政府と企業の責任がきわめて重要な課題となっている。

また、六十二年の鉄鋼引き取り量問題は、八月下旬にヤマ場を迎える情勢となっています。このような情勢をふまえて炭労は、六十三年度石炭予算については、現在、通産省原案が作成されようとしています。

現在、鉄鋼との間で六十二年度

三池炭鉱労働組合だからこそ

一、爆発のとき

昭和三十八年十一月九日爆発のとき、私は福岡地方裁判所の刑事裁判官室にいた。

A裁判長は、三池闘争のなかで何度も坑内に入坑した経験から、「三川炭の斜坑では爆発が起るはずがない」と断言した。



原告団総会で(7月12日)

炭鉱労働者の命

上村、山野の裁判の中で

身立銅角 裁判団 池三

一時間余の説得と議論のなかで、メリケン粉工場でも爆発が起きた実例や、最近の日本の炭鉱ではガス・炭じん爆発、坑内火災が特に頻発している現状を話して、やっと納得してもらった。

昭和四十年六月一日、山野炭でガス爆発が起き二百三十七

人が死亡した。このとき、私は諫山博先生が所長の福岡第法務事務所のあるわごうビルにいた。炭鉱でのガス爆発がいかなるメカニズムで発生し、COとCO₂などの跡ガスで死者が出るのかにつき、一時間余も説明した記憶がある。

昭和四十二年九月二十八日の坑内火災も含めて、当時の新聞から書き抜くと、
・三川炭(三井三池)で大爆発
死者百七十一人、史上最大級の炭鉱事故。また五百三十人かかわらず、炭鉱そのものが九州、北海道と地域的に「無限

三井炭山が支払った「命のねだん」は、上村事件で千九百万円、山野炭では千三百五十万円であった。それによって、日本炭鉱労働組合の串刺し協定が他産業並みになったのは周知の事実である。



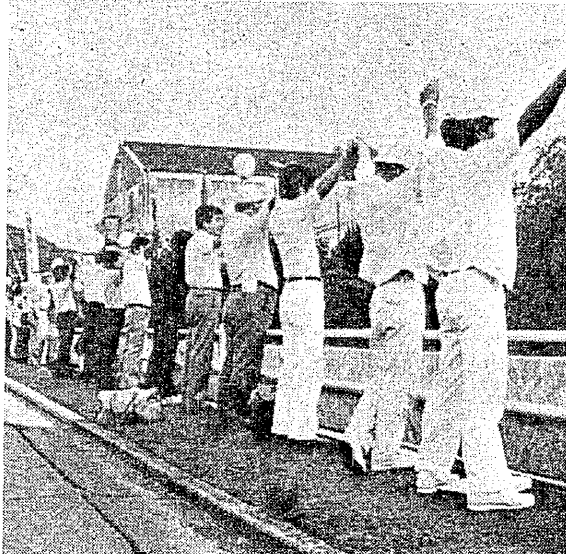
人間の鎖、チッソを包囲

広がる水俣被害救済支援

八月二十二日午後四時四十分、チッソ水俣工場は、水俣病患者・遺族、全国から駆けつけた労働者ら千三百人の「人間の鎖」で包囲され、鎖は一・三キロ口につながり、「水俣病被害者の医療救済を」などのシュプレヒコールが響きました。

この行動には東京地評をはじめ熊本鹿屋島の両県評も正式に参加しました。水俣病は公式発見から三十一年を経ながら、一万人を超える認定申請者の多くは未だに放置され、数万人ともいわれる潜在患者の調査さえおこなわれないなど、行政当局とチッソの対応が問われ続けてきました。

一方、今年三月三十日、国の責任を初めて認められた熊本地裁判決を機に、患者の医療救済、水俣地域の再生など水俣問題の全面解決をめざす動きも活発化してきています。



詰碁解答

問題は四面

△解答▽黒1白2のとき、黒3、5が好手段で白6までのコウが正解です。黒1では白4黒5白1で白生き。また黒3では白3黒1白0で追い落としになり失敗です。

